

## 2020年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。各学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 産業福祉マネジメント学科

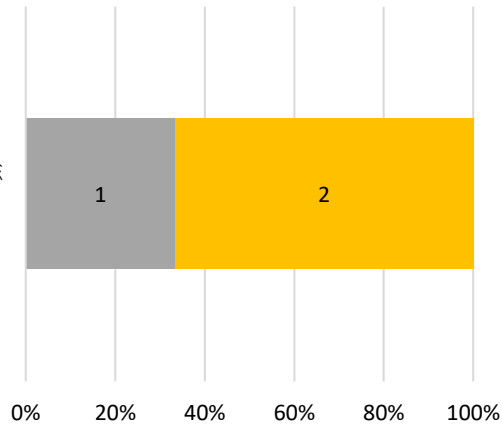
産業福祉マネジメント学科では、カリキュラム・ポリシーに基づき「学びの姿勢振り返り」として「目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び」、「多様な学びと社会性」、「協調性」、「アントレプレナーシップ」、「高いITスキルとプレゼンテーション力」、「キャリアマインド」、「PBL（問題解決型学習）」、「公共性と倫理観」の8項目を6件法によって調査することで、学科 教育課程の編成・実施の方針に照らしたカリキュラムの適切性の検証を実施した。（1年生回答数：3）  
8項目の平均値は下記の通りであった。

1. 目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び（平均値：3.67、前年平均値：4.33）
2. 多様な学びと社会性（平均値：3.33、前年平均値：4.23）
3. 協調性（平均値：3.67、前年平均値：4.34）
4. アントレプレナーシップ（平均値：4.00、前年平均値：4.04）
5. 高いITスキルとプレゼンテーション力（平均値：4.00、前年平均値：4.29）
6. キャリアマインド（平均値：3.00、前年平均値：4.14）
7. PBL（問題解決型学習）（平均値：3.33、前年平均値：4.00）
8. 公共性と倫理観（平均値：3.33、前年平均値：4.22）

平均値が3.5を超えている項目は、「目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び」、「協調性」、「アントレプレナーシップ」、「高いITスキルとプレゼンテーション力」であった。一方、3.5を下回った項目は、「多様な学びと社会性」、「キャリアマインド」、「PBL（問題解決型学習）」、「公共性と倫理観」であった。「アントレプレナーシップ」、「協調性」、「高いITスキルとプレゼンテーション力」は4を超えている。学科の教育課程の編成・実施の方針は概ね妥当と判断できる。

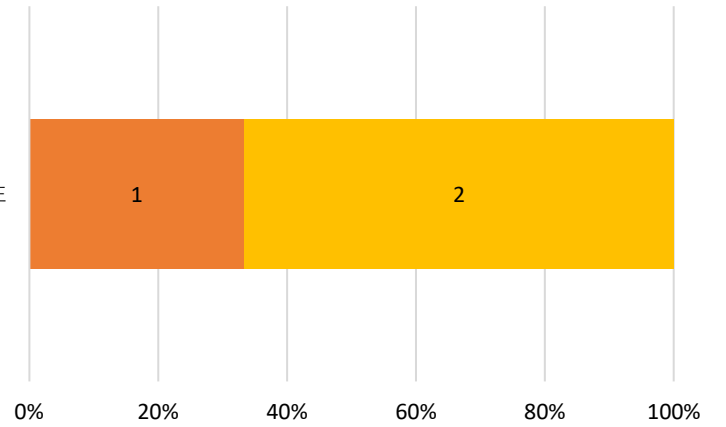
本年はいずれの項目の平均値も前年の平均値を下回っている。ただし、前年の1年生回答数104人に対し、本年の回答者数が3人と非常に少ない。そのため、本結果が2020年の1年生全体を表しているかについては疑問が残る。したがって、大学での取り組みを振り返るだけでなく何らかの記録を残すよう適切な指導を行うことが来年度の課題と考えられる。

目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び



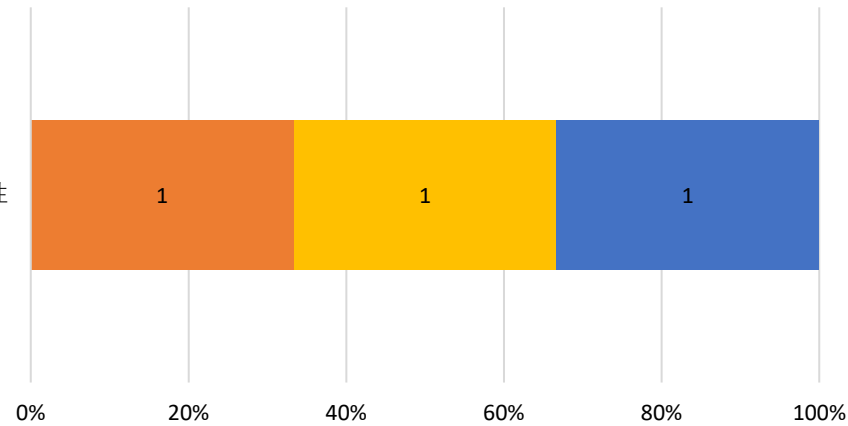
■ 全くそう思わない ■ そう思わない ■ あまりそう思わない  
■ ややそう思う ■ そう思う ■ 非常にそう思う

多様な学びと社会性



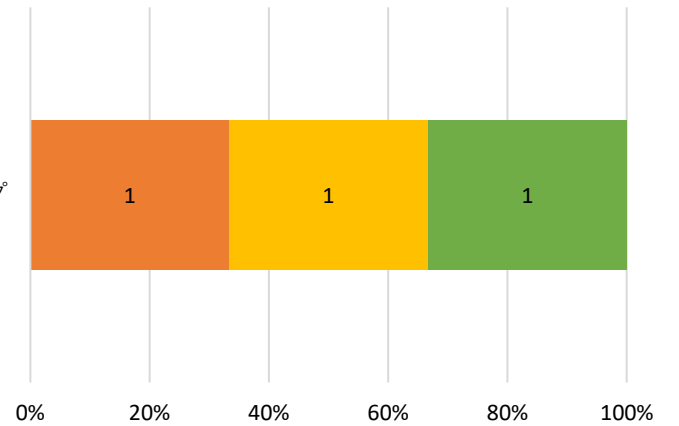
■ 全くそう思わない ■ そう思わない ■ あまりそう思わない  
■ ややそう思う ■ そう思う ■ 非常にそう思う

協調性



■ 全くそう思わない ■ そう思わない ■ あまりそう思わない  
■ ややそう思う ■ そう思う ■ 非常にそう思う

アントレプレナーシップ



■ 全くそう思わない ■ そう思わない ■ あまりそう思わない  
■ ややそう思う ■ そう思う ■ 非常にそう思う

